

調査結果の概要

幼児・児童及び生徒の発育状態

1 身長(表1)

(1) 前年度との比較

- ・男子は、6歳、9歳、11歳、13歳、15歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、7歳、8歳、12歳、13歳、16歳、17歳の各年齢で前年度より増加している。

(2) 全国平均値との比較

- ・男子は、6歳、9歳、10歳、13歳から17歳の各年齢で全国平均値を上回っている。
- ・女子は、6歳から8歳、11歳、12歳、14歳から17歳の各年齢で全国平均値を上回っている。

(3) 30年前(親の世代)との比較

- ・男女とも、すべての年齢において30年前を上回っている。
- このうち、最も伸びの大きい年齢は、男子が13歳(160.4cm)で4.0cm、女子は11歳(147.0cm)で2.8cm高くなっている。

(4) 男子と女子の比較

- ・7歳、10歳、11歳で、女子が男子を上回っている。

図3 平均身長の推移(男子)

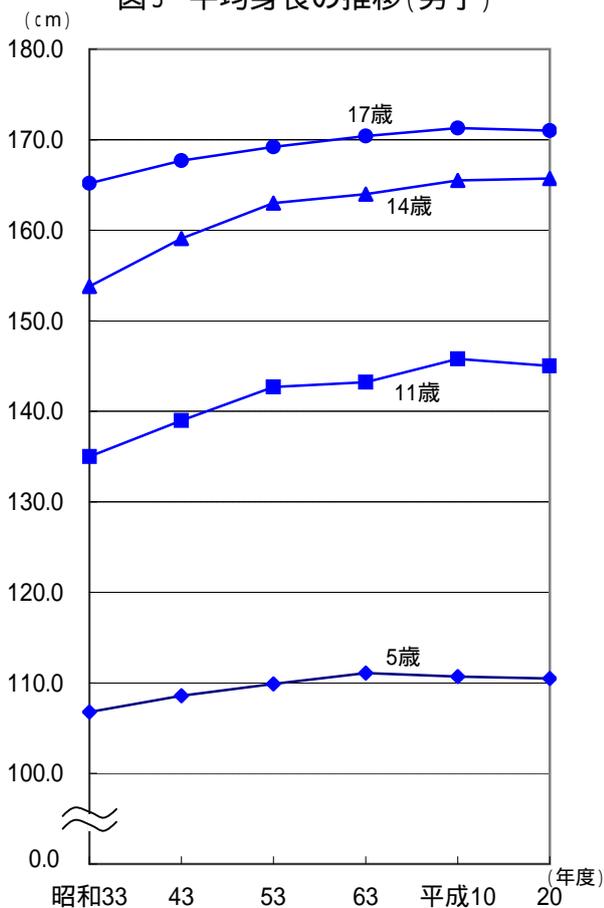
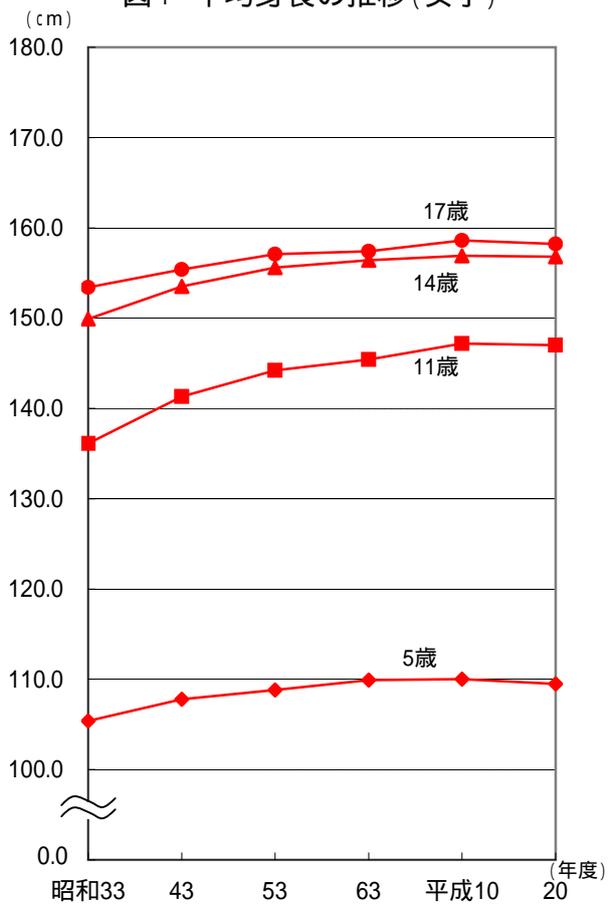


図4 平均身長の推移(女子)



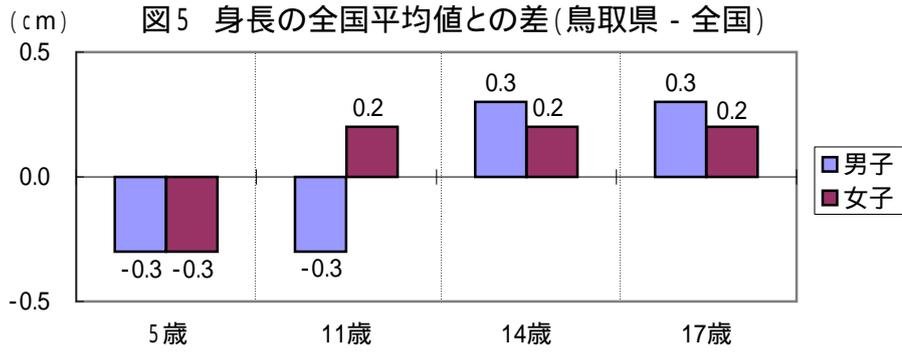


表1 年齢別 身長の平均値

(単位:cm)

区分		平成20年度 A	平成19年度 B	A - B	全国(H20) C	A - C	30年前 D (親の世代)	A - D	
男子	幼稚園	5歳	110.5	110.6	-0.1	110.8	-0.3	109.9	0.6
	小学校	6歳	116.8	116.3	0.5	116.7	0.1	115.4	1.4
		7歳	122.0	122.9	-0.9	122.5	-0.5	121.2	0.8
		8歳	128.1	128.2	-0.1	128.2	-0.1	126.0	2.1
		9歳	133.8	133.3	0.5	133.7	0.1	132.1	1.7
		10歳	139.1	139.1	0.0	138.9	0.2	137.9	1.2
		11歳	145.0	144.9	0.1	145.3	-0.3	142.7	2.3
	中学校	12歳	152.4	152.4	0.0	152.6	-0.2	149.7	2.7
		13歳	160.4	160.0	0.4	159.8	0.6	156.4	4.0
		14歳	165.7	165.7	0.0	165.4	0.3	163.0	2.7
	高等学校	15歳	169.1	168.4	0.7	168.3	0.8	167.1	2.0
		16歳	170.2	170.3	-0.1	170.0	0.2	169.2	1.0
		17歳	171.0	171.4	-0.4	170.7	0.3	169.2	1.8
女子	幼稚園	5歳	109.5	109.8	-0.3	109.8	-0.3	108.8	0.7
	小学校	6歳	116.0	116.1	-0.1	115.8	0.2	114.2	1.8
		7歳	122.2	121.8	0.4	121.7	0.5	120.4	1.8
		8歳	127.7	127.4	0.3	127.5	0.2	126.1	1.6
		9歳	133.5	133.9	-0.4	133.6	-0.1	131.6	1.9
		10歳	140.1	140.4	-0.3	140.3	-0.2	138.2	1.9
		11歳	147.0	147.5	-0.5	146.8	0.2	144.2	2.8
	中学校	12歳	152.3	151.8	0.5	152.1	0.2	150.5	1.8
		13歳	155.1	155.0	0.1	155.1	0.0	153.9	1.2
		14歳	156.8	157.3	-0.5	156.6	0.2	155.6	1.2
	高等学校	15歳	157.5	158.0	-0.5	157.3	0.2	156.4	1.1
		16歳	158.7	158.0	0.7	157.7	1.0	156.5	2.2
		17歳	158.2	157.9	0.3	158.0	0.2	157.1	1.1

30年前(親の世代)は、昭和53年度のデータ。

2 体重(表2)

(1) 前年度との比較

- ・男子は、6歳、8歳、9歳、11歳、13歳、15歳から17歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、7歳、8歳、13歳、15歳、16歳の各年齢で前年度より増加している。

(2) 全国平均値との比較

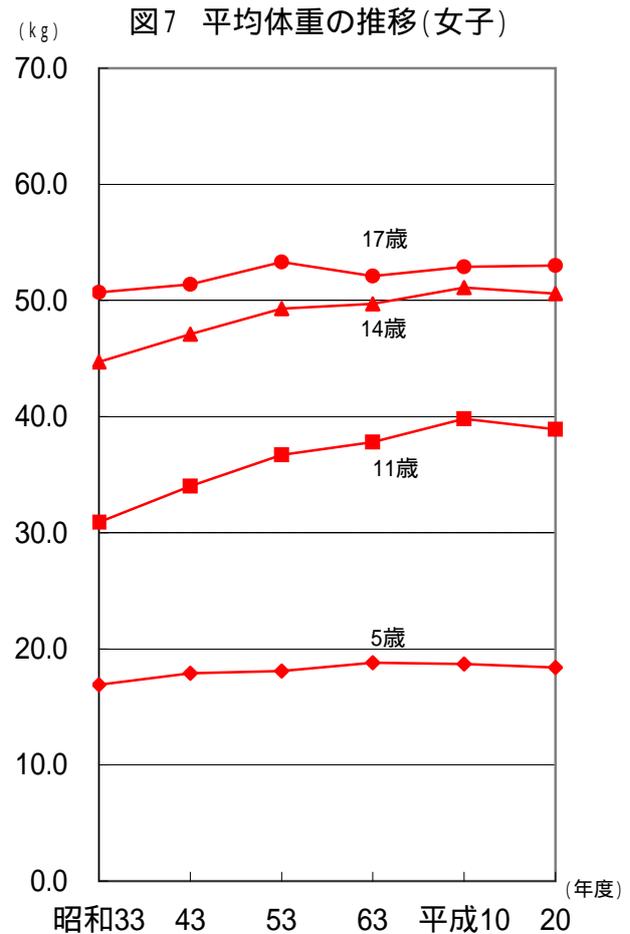
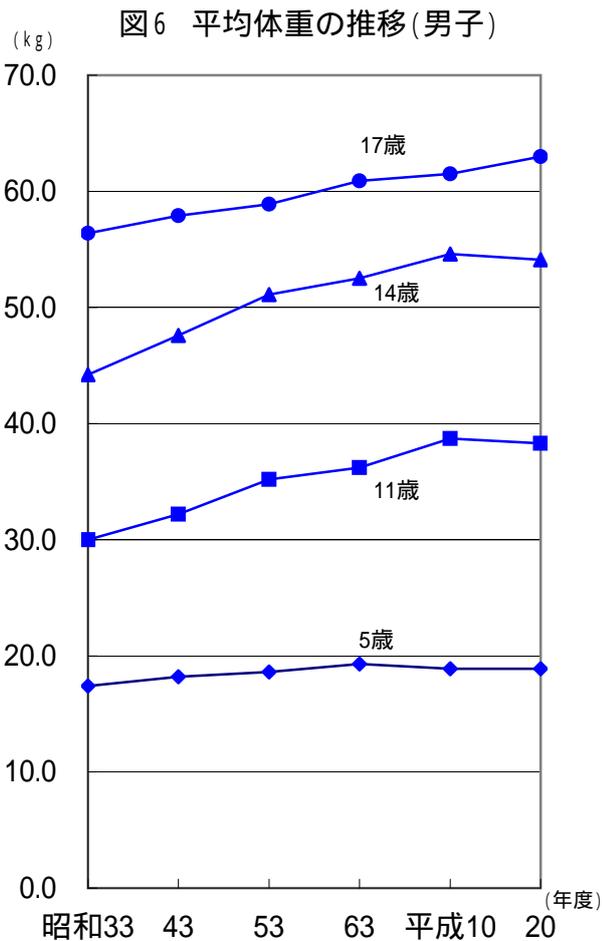
- ・男子は15歳で上回り、6歳、10歳で同じとなっているほかは、各年齢で全国平均値を下回っている。
- ・女子は6歳から8歳、14歳から16歳の各年齢で全国平均値を上回っている。

(3) 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、すべての年齢において、30年前を上回っている。
- ・女子は、17歳で下回っているほかは、30年前を上回っている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子が13歳(49.3kg)で4.2kg、女子が11歳(38.9kg)で2.2kg重くなっている。

(4) 男子と女子の比較

- ・7歳、11歳、12歳で、女子が男子を上回っている。



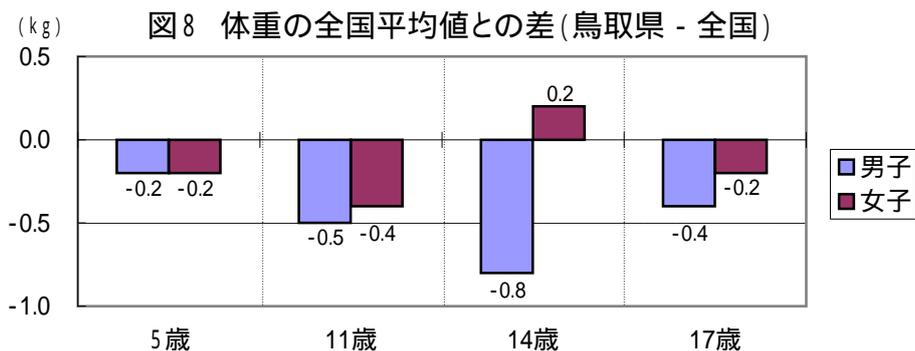


表2 年齢別 体重の平均値

(単位: kg)

区分		平成20年度 A	平成19年度 B	A - B	全国(H20) C	A - C	30年前 D(親の世代)	A - D	
男子	幼稚園	5歳	18.9	18.9	0.0	19.1	-0.2	18.6	0.3
	小学校	6歳	21.5	21.3	0.2	21.5	0.0	20.6	0.9
		7歳	23.7	24.3	-0.6	24.2	-0.5	22.8	0.9
		8歳	27.2	27.1	0.1	27.3	-0.1	25.2	2.0
		9歳	30.4	30.3	0.1	30.8	-0.4	28.5	1.9
		10歳	34.3	34.4	-0.1	34.3	0.0	32.2	2.1
		11歳	38.3	37.7	0.6	38.8	-0.5	35.2	3.1
	中学校	12歳	43.3	43.5	-0.2	44.5	-1.2	40.6	2.7
		13歳	49.3	49.1	0.2	49.5	-0.2	45.1	4.2
		14歳	54.1	54.5	-0.4	54.9	-0.8	51.1	3.0
	高等学校	15歳	60.0	58.6	1.4	59.8	0.2	56.1	3.9
		16歳	60.7	60.3	0.4	61.6	-0.9	58.5	2.2
		17歳	63.0	62.9	0.1	63.4	-0.4	58.9	4.1
女子	幼稚園	5歳	18.4	18.5	-0.1	18.6	-0.2	18.1	0.3
	小学校	6歳	21.2	21.3	-0.1	21.0	0.2	19.6	1.6
		7歳	23.9	23.6	0.3	23.6	0.3	22.3	1.6
		8歳	26.7	26.5	0.2	26.6	0.1	25.1	1.6
		9歳	30.0	30.0	0.0	30.1	-0.1	28.3	1.7
		10歳	33.7	34.1	-0.4	34.4	-0.7	32.2	1.5
		11歳	38.9	39.0	-0.1	39.3	-0.4	36.7	2.2
	中学校	12歳	43.7	43.9	-0.2	44.2	-0.5	42.5	1.2
		13歳	47.3	47.1	0.2	47.7	-0.4	45.8	1.5
		14歳	50.6	50.6	0.0	50.4	0.2	49.3	1.3
	高等学校	15歳	52.1	51.5	0.6	52.0	0.1	50.9	1.2
		16歳	53.2	52.7	0.5	53.0	0.2	52.2	1.0
		17歳	53.0	53.8	-0.8	53.2	-0.2	53.3	-0.3

30年前(親の世代)は、昭和53年度のデータ。

3 座高(表3)

(1) 前年度との比較

- ・男子は、6歳、9歳、15歳から17歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、7歳、12歳、16歳、17歳の各年齢で前年度より増加している。

(2) 全国平均値との比較

- ・男子は7歳、12歳で下回り、6歳、8歳で同じとなっているほかは、全国平均値を上回っている。
- ・女子は10歳、13歳で同じ、9歳で下回っているほかは、全国平均値を上回っている。

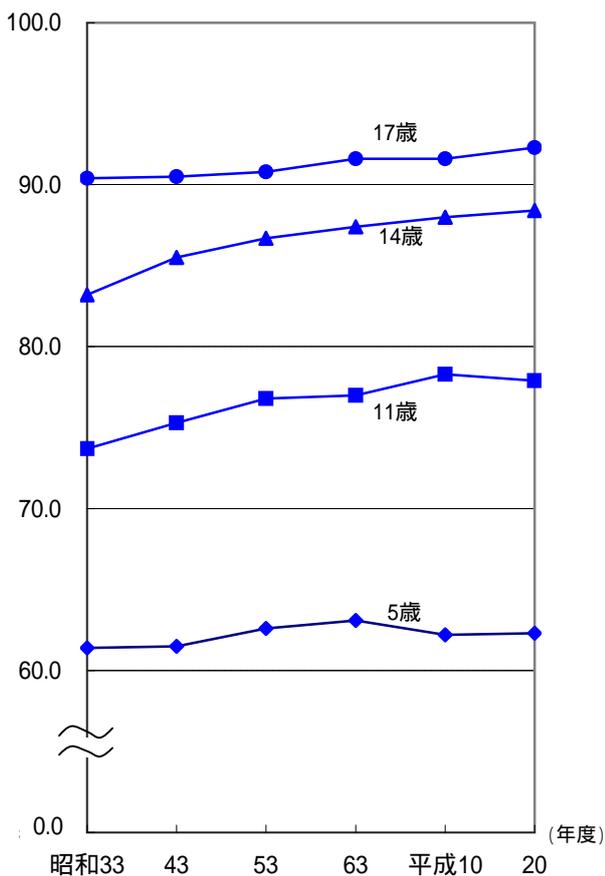
(3) 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は5歳、7歳で下回っているほかは、30年前を上回っている。
- ・女子は5歳で同じとなっているほかは、30年前を上回っている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子が13歳(85.3cm)で1.8cm、女子は11歳(79.4cm)で1.7cm高くなっている。

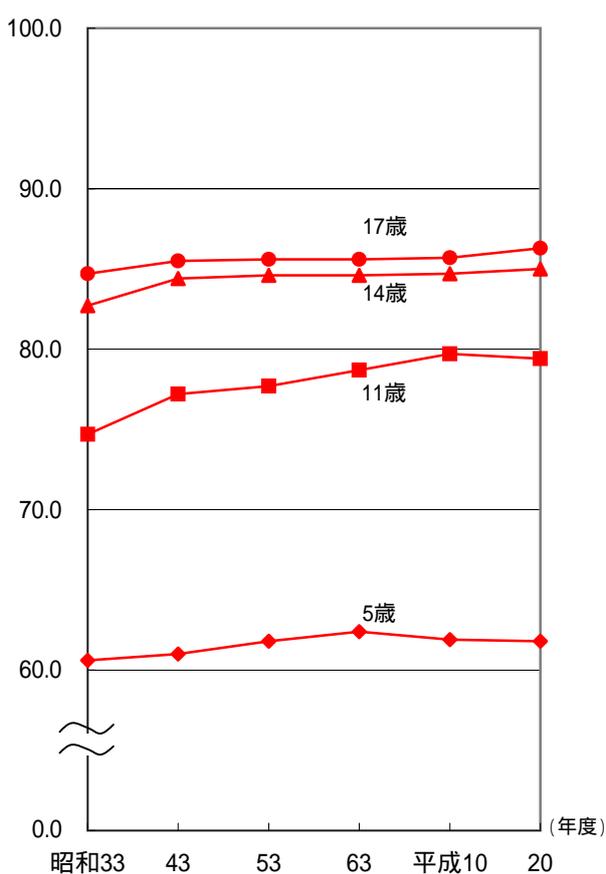
(4) 男子と女子の比較

- ・7歳、10歳から12歳で、女子が男子を上回っている。

(cm) 図9 平均座高の推移(男子)



(cm) 図10 平均座高の推移(女子)



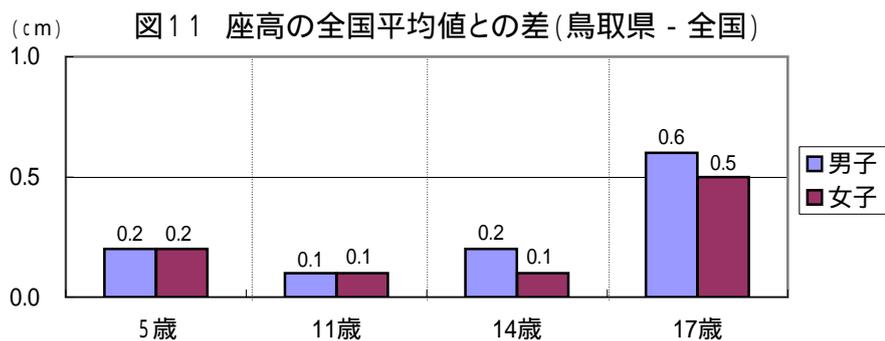


表3 年齢別 座高の平均値

(単位:cm)

区分		平成20年度 A	平成19年度 B	A - B	全国(H20) C	A - C	30年前 D(親の世代)	A - D	
男子	幼稚園	5歳	62.3	62.3	0.0	62.1	0.2	62.6	-0.3
	小学校	6歳	65.0	64.8	0.2	65.0	0.0	64.8	0.2
		7歳	67.5	68.0	-0.5	67.7	-0.2	67.6	-0.1
		8歳	70.3	70.4	-0.1	70.3	0.0	69.8	0.5
		9歳	72.9	72.7	0.2	72.8	0.1	72.4	0.5
		10歳	75.2	75.3	-0.1	75.0	0.2	74.8	0.4
		11歳	77.9	78.0	-0.1	77.8	0.1	76.8	1.1
	中学校	12歳	81.2	81.4	-0.2	81.4	-0.2	80.3	0.9
		13歳	85.3	85.3	0.0	85.0	0.3	83.5	1.8
		14歳	88.4	88.5	-0.1	88.2	0.2	86.7	1.7
	高等学校	15歳	91.0	90.5	0.5	90.2	0.8	89.8	1.2
		16歳	91.8	91.5	0.3	91.2	0.6	90.7	1.1
		17歳	92.3	92.2	0.1	91.7	0.6	90.8	1.5
女子	幼稚園	5歳	61.8	61.8	0.0	61.6	0.2	61.8	0.0
	小学校	6歳	64.8	64.9	-0.1	64.6	0.2	64.3	0.5
		7歳	67.7	67.6	0.1	67.3	0.4	67.2	0.5
		8歳	70.2	70.2	0.0	70.0	0.2	69.8	0.4
		9歳	72.7	73.1	-0.4	72.8	-0.1	72.2	0.5
		10歳	76.0	76.2	-0.2	76.0	0.0	75.4	0.6
		11歳	79.4	79.7	-0.3	79.3	0.1	77.7	1.7
	中学校	12歳	82.3	82.1	0.2	82.2	0.1	81.5	0.8
		13歳	83.8	84.0	-0.2	83.8	0.0	83.6	0.2
		14歳	85.0	85.1	-0.1	84.9	0.1	84.6	0.4
	高等学校	15歳	85.9	85.9	0.0	85.4	0.5	85.5	0.4
		16歳	86.6	85.9	0.7	85.6	1.0	85.5	1.1
		17歳	86.3	86.0	0.3	85.8	0.5	85.6	0.7

30年前(親の世代)は、昭和53年度のデータ。

幼児・児童及び生徒の健康状態

1 主な疾病・異常

(1)前年度との比較

裸眼視力1.0未満

- ・「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、男子は小学校、中学校で前年度より高くなっており、高等学校で低くなっている。
- ・女子は小学校、高等学校で前年度より低くなっている。
- ・小学校、中学校、高等学校で女子の方が男子より高くなっている。

むし歯(う歯)

- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、男子は幼稚園で高くなっているほかは、前年度より低くなっている。
- ・女子はすべての学校区分において、前年度より低くなっている。
- ・幼稚園、小学校で男子の方が女子より高くなっている。

ぜんそく

- ・「ぜん息」の者の割合は、男子はすべての学校区分において前年度より高くなっている。
- ・女子は中学校で同じであるほかは、前年度より高くなっている。
- ・すべての学校区分において男子の方が女子より高くなっている。

アトピー性皮膚炎

- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、男子は幼稚園、中学校で前年度より低くなっている。
- ・女子は幼稚園で前年度と同じであり、小学校、中学校で低くなっており、高等学校では高くなっている。
- ・小学校、中学校で男子の方が女子より高くなっている。

表4 前年度との比較(鳥取県)

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息		アトピー性皮膚炎		
	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	
男子	幼稚園	35.30	x	53.00	52.10	2.60	1.40	2.70	4.70
	小学校	28.70	28.00	71.00	72.30	9.30	9.10	8.30	8.10
	中学校	53.00	48.90	56.10	59.00	6.20	5.70	4.70	5.30
	高等学校	62.60	67.10	66.80	68.90	3.60	3.40	5.30	5.00
女子	幼稚園	x	x	47.90	50.60	2.10	0.40	4.50	4.50
	小学校	33.70	34.60	66.50	68.40	5.80	5.30	7.10	7.30
	中学校	64.00	59.00	63.20	64.70	3.80	3.80	4.40	4.50
	高等学校	71.50	76.30	70.00	74.40	2.90	2.70	5.90	5.50

(注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 「x」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。

3 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

(2) 全国平均値との比較

裸眼視力1.0未満

- ・「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、男子はすべての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・女子も小学校、中学校、高等学校で全国平均値より高くなっている。

むし歯(う歯)

- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、男子はすべての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・女子は幼稚園のみ全国平均値より低くなっている。

ぜん息

- ・「ぜん息」の者の割合は、男子が幼稚園で低いほかは、男子、女子ともに全国平均値より高くなっている。
- ・特に男子は小学校(9.30%)で全国平均値(4.75%)より4.55ポイント高くなっている。

アトピー性皮膚炎

- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、男子が幼稚園で低いほかは、男子、女子ともに全国平均値より高く平均値より高くなっている。
- ・特に男子は小学校(8.30%)で全国平均値(3.81%)より4.49ポイント、女子は小学校(7.10%)で全国平均値(3.15%)より3.95ポイントと、それぞれ高くなっている。
- ・全国平均値ではすべての学校区分において、男子の方が女子より高いのに対し、鳥取県では小学校、中学校で男子の方が女子より高くなっている。

表5 全国平均値との比較

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息		アトピー性皮膚炎		
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	
男子	幼稚園	35.30	28.16	53.00	51.25	2.60	3.35	2.70	3.92
	小学校	28.70	26.94	71.00	65.23	9.30	4.75	8.30	3.81
	中学校	53.00	48.13	56.10	53.97	6.20	3.54	4.70	2.89
	高等学校	62.60	53.69	66.80	63.35	3.60	2.01	5.30	2.38
女子	幼稚園	x	29.71	47.90	49.22	2.10	1.92	4.50	3.15
	小学校	33.70	32.94	66.50	62.28	5.80	3.00	7.10	3.15
	中学校	64.00	57.27	63.20	58.13	3.80	2.43	4.40	2.43
	高等学校	71.50	62.39	70.00	67.66	2.90	1.63	5.90	2.25

- (注) 1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。
- 2 「x」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。
- 3 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

(3) 30年前(親の世代)との比較

裸眼視力1.0未満

・「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、小学校、中学校、高等学校で高くなっている。
特に中学校は30年前より20.18ポイント高くなっている。

むし歯(う歯)

・「むし歯(う歯)」の者の割合は、小学校、中学校、高等学校で30年前より低くなっている。
特に中学校は30年前より36.46ポイント低くなっている。

ぜん息

・「ぜん息」の者の割合は、小学校、中学校、高等学校で30年前より高くなっている。
特に小学校は30年前より7.01ポイント高くなっている。

表6 30年前(親の世代)との比較(鳥取県)

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息	
	平成20年度	30年前	平成20年度	30年前	平成20年度	30年前
小学校	31.20	13.92	68.80	96.75	7.60	0.59
中学校	58.50	38.32	59.70	96.16	5.00	0.22
高等学校	66.90	56.03	68.40	97.60	3.30	0.14

(注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

3 30年前(親の世代)は、昭和53年度のデータ。